

備前市事務事業評価表

事務事業名	ボランティア育成事業	コード	02-01-03-31
		担当課・係	福祉事務所障害者福祉係
		担当者	田中淳一
事業実施期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日		
	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目(施策)	障害者(児)福祉	

事業について	
目的(何のために)	手話奉仕員及び要約筆記奉仕員を養成することにより、聴覚障害者、難聴者の福祉増進に資するとともに、中途失聴者、難聴者のコミュニケーション手段として指導を行う。
対象(誰・何を対象に)	市内在住在勤で15歳以上の方
内容	手話奉仕員及び要約筆記奉仕員の養成講座を社会福祉法人等へ委託し、実施する。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
手話奉仕員養成研修受講者	18人	18人	
要約筆記奉仕員養成講習受講者数	3人	11人	
事業費(単位:千円)	事業費 直接事業費 483 人件費 1,435 合計 1,918	財源 国庫補助金等 362 市債 一般財源等 1,556	事業費 直接事業費 450 人件費 475 合計 925
		財源 国庫補助金等 337 市債 一般財源等 588	
		事業費 人件費 0 合計 0	財源 市債 一般財源等 0

必要人員	0.05人			
結果指標	結果指標名 結果指標量 単位 対前年比 活動にかかるコスト 単位当たりコスト	手話奉仕員養成講習受講者数 18 人 100.00% 967,500円 53,750円	手話奉仕員養成講習受講者数 18 人 100.00% 468,000円 26,000円	0.00%
結果指標	結果指標名 結果指標量 単位 対前年比 活動にかかるコスト 単位当たりコスト			

事業の成果	どのような成果を得ようとしているか	手話奉仕員及び要約筆記奉仕員を養成することにより、奉仕員として登録をする。	
成果指標名	手話奉仕員登録率	式又は説明 登録者/受講者	
	17年度	18年度	
成果指標量	17%	11%	
対前年比	-	64.71%	0.00%
到達目標値	30	到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 対象の妥当性 <input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である 市民ニーズの妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である 市の関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	妥当性評価<A~E> B 課題認識
効率性の評価	コストの効率化 <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である 手段の最適化 <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている 職場の効率化 <input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	効率性評価<A~E> C 課題認識 講習内容を検討する。
有効性の評価	目的達成度 <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している 成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価<A~E> C 課題認識
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	希望者が参加しやすい時間帯、場所等を検討する。

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明
目標値	結果指標量 30%	結果指標量 手話奉仕員登録率	

総合評価	要請講習は定着し、受講希望者も毎年いるが、登録者が増加しない。	評価区分 <A~E> D
------	---------------------------------	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	開催場所、講習内容の検討	20年度	登録者の増加、資格取得